

R5.6.4 能代市水防訓練の実施

☆大雨による大規模な河川の氾濫や台風の接近による中小河川の越境の水害を想定し、土のう積み訓練等の基本訓練及び想定訓練をとおして水防団の活動連携を確認することにより、水防団の総合的な水防活動能力の強化を図り、水害対応へ万全を期することを目的に開催しています。

☆令和5年6月4日(日) 能代市中嶋地区河川緑地

《実施機関：能代市、能代市水防団(消防団)、能代市消防本部(署)》

実施状況



土のう作成の状況



積み土のうの作成状況

R5.5.26 能代市総合防災訓練

☆大規模災害時発生時における初動時の情報収集、連絡、報告体制の確立及び迅速かつ正確な情報共有、連携を図ることを目的に「災害対策本部設置運用訓練」を実施しました。
☆今年度は日本海中部地震から40年の節目であり、甚大な被害があったことを風化させない為に地震・津波を想定した訓練を実施しました。同訓練では、秋田県沖でM8.7の地震が発生、能代市で最大震度6強を観測し津波が押し迫る想定で、被害情報の収集・整理・伝達、避難誘導、がれき救助、避難所開設等を行いました。
《実施機関：能代市》

実施状況



住民の避難状況



各部長から本部長へ対応等の状況報告

令和4年8月豪雨に対する自主防災組織活動

○北秋田市伊勢町地区は集落内に米代川への水門を有しており、浸水被害の危険を抱える地域でもあることから、「伊勢町自治会 安全の会 * 自主防災組織」では、日頃から自主防災活動に積極的に取り組んでおり、災害時の被害を最小限に抑えるための心構えが地域住民に広く浸透しています。

8月豪雨の際、いち早く地区の会館を一時避難所として自主的に開放し、地域住民へ避難を呼びかけたほか、高齢者等の避難に時間を要する方への支援や炊出しの実施により、地域住民の安全・安心の確保を図ることができました。
《実施機関：北秋田市》

実施状況



浸水被害の様子



自主防災リーダー研修会
での講演の様子



災害図上訓練の様子

令和5年度 大館市水防訓練の実施

☆台風の接近等に伴う大規模な河川のはん濫や局地的豪雨による中小河川の越水等の水害を想定し、土のう作りやロープ結着等の基本訓練及び想定訓練をとおして水防団の活動連携を確認することにより、水防団の総合的な水防活動能力の強化を図り、水害対応へ万全を期することを目的に開催しています。

☆令和5年5月28日（日） 外川原地区米代川河川緑地

大館市水防団（消防団）、大館市消防本部（署）、大館市危機管理課

《実施機関：大館市》

実施状況



シート張り工訓練



令和5年度 緊急浚渫事業債を活用した取り組み

☆大館市が管理する米代川水系の普通河川112河川(管理延長356km)のうち、大館市個別施設計画に基づき10河川(計画延長3.70km)を対象に緊急浚渫事業債を活用した取り組みを進めている。

- ・ 令和4年度(実施済) 粕田川ほか 2河川 L=552mの堆積土砂掘削
- ・ 令和5年度(予定) 粕田川ほか 4河川 L=1,220mの堆積土砂掘削

《実施機関:大館市建設部土木課》

令和4年度 緊急浚渫推進事業債を活用し、実施した普通河川
(R4施工:粕田川)



着工前



完成

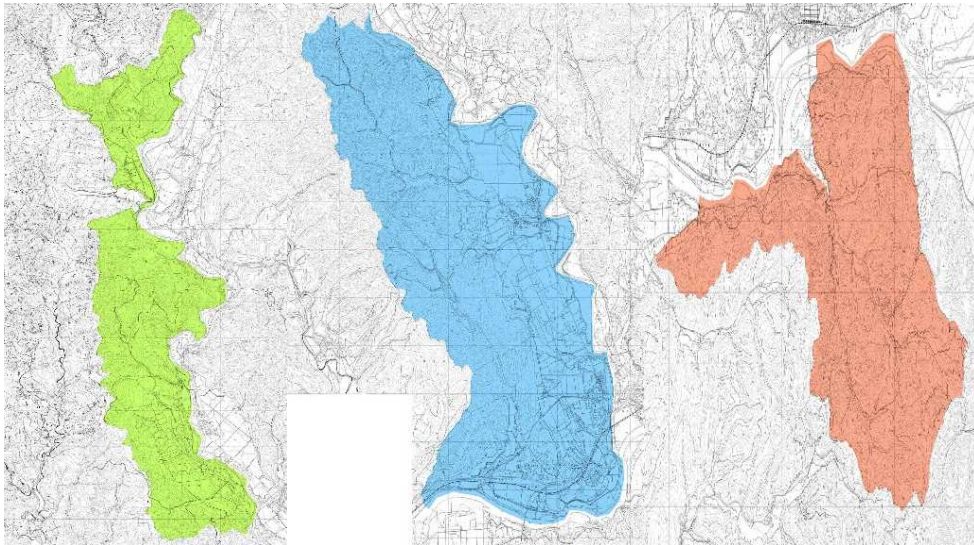
令和5年度 森林経営管理制度の取り組み

☆森林は、水源の涵養や地球温暖化の防止などの役割を持ちますが、手入れが不十分だと樹木はやせ細り、下草や低木も育たず地表がむき出しになり、大雨の際に山崩れなどを引き起こす原因になってしまいます。

☆森林経営管理制度は、適切に管理されていない森林について、経営に適したものは林業経営者に集積・集約し、経営に適さないものは市が管理を行う制度です。大館市では令和元年度から令和4年度までに139人の森林所有者から賛同を得て、約161haで経営管理権を設定、約1haを林業経営者に再委託しました。

《実施機関：大館市》

実施状況



年度ごとに対象地区を広報で周知



制度説明会の様子

R4.8 大雨災害時での自主防災組織における救助活動

- ☆令和4年8月の大雨災害において土砂崩れや家屋の浸水等の被害が発生
- ☆自主防災組織が主体となり、家屋の浸水現場での排水作業や土砂災害警戒のための住民避難支援等が実施される
- ☆大雨災害時活動や日頃の防災活動などが認められ2団体(蟹沢自主防災会、高市自主防災会)が優良自主防災組織として秋田県知事表彰を受ける

《実施機関:鹿角市内の自主防災組織》

実施状況



浸水現場での排水作業

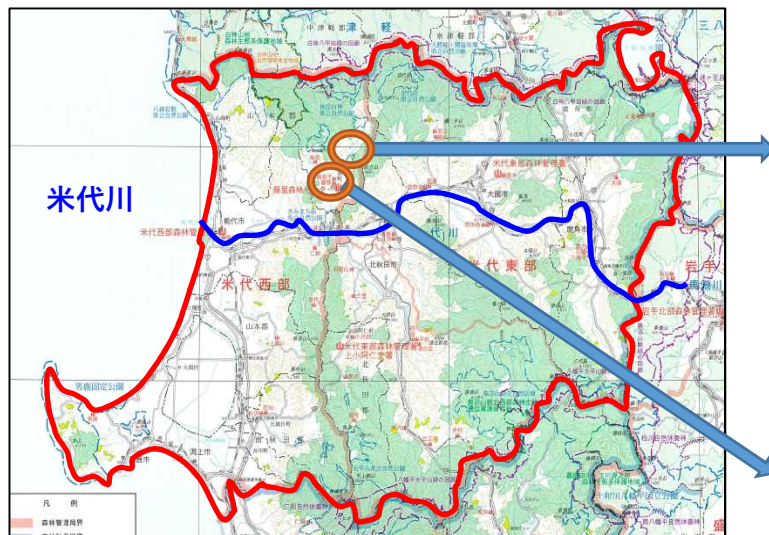


防災研修会において住民避難支援の様子を再現

R5.6.2 稚鮎放流事業の実施

- ☆水産振興の一環として、町と粕毛漁業協同組合と共同で稚鮎の放流を実施しています。
令和5年度も、藤琴川・粕毛川の8箇所において稚鮎を放流しました。
- ☆毎年、幼稚園児に水辺の環境に興味を持ってもらうため、鮎の放流体験も同時に実施しています。
※令和5年度の放流体験は残念ながら雨天により中止となりました。写真は令和4年度の様子です。

《実施機関：藤里町》



稚鮎放流事業の一例(藤琴川の2箇)



放流事業の様子
町と粕毛漁業協同組合による藤琴川森合橋付近での放流事業実施状況



放流体験の様子
藤琴川の藤琴橋付近で藤里幼稚園年長児13名が参加し、放流体験を実施しました。※R4.6

R5.6.22 「災害時における飲料の供給に関する協定」を締結

6月22日、藤里町三世代交流館において「災害時における飲料の確保に関する協定」締結式が行われ、みちのくコカ・コーラボトリング株式会社の佐藤茂正秋田営業部長と佐々木町長が協定書を取り交わしました。

町では災害発生時の避難所対策として一定の非常用飲料等の備蓄を進めていますが、未曾有の災害や避難生活の長期化に備え、飲料水の確保について迅速な手配ができる体制強化を図るため本協定を締結しました。

《実施機関：藤里町》



R5.6.22 協定締結式の様

R5.5.28 鹿角・小坂水防訓練の実施

☆出水期に備え、水防技術の向上と水防体制の強化を図り、あわせて地域住民に対する水防の重要性についての認識を高め理解と協力を得ることを目的に実施した。

☆令和5年5月28日(日) 鹿角市花輪字観音堂(米代川右岸 久保田橋下流)
鹿角市、小坂町、鹿角市消防団、小坂町消防団、鹿角市内自主防災会

《実施機関:鹿角市・小坂町》

実施状況



木流し工訓練

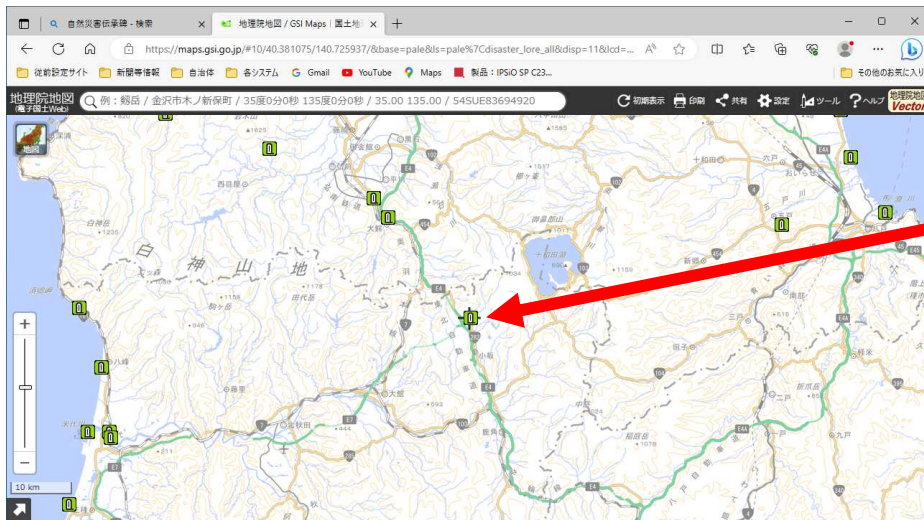


積み土のう工訓練

R5.6.29 国土地理院地図への自然災害伝承碑の登録

- 碑名 復旧記念碑
- 建立年 1936年(昭和11年)
- 所在地 秋田県鹿角郡小坂町小坂字岱16 濁川 摺臼野神社境内

○伝承内容 昭和10年(1935)8月23日から24日の大洪水により、流失家屋14戸、損壊60戸、浸水824戸、他にも道路、橋、耕地などの被害が発生した。避難所収容は小坂地区のみで3,127名に及んだ。
《実施機関:小坂町》



地理院地図(電子国土Web)



復旧記念碑

H24～ 上小阿仁村防災監視カメラ

☆平成24年度から、村独自で防災監視カメラを設置し、村ホームページ上で公開しています。監視地点は、①上小阿仁村生涯学習センター裏の小阿仁川、②国道285号上の新羽立橋付近の小阿仁川の2地点です。

大雨や上流の萩形ダムの放流等による小阿仁川の増水状況が、インターネットで確認できるため、住民だけでなく、他地域に住む家族なども村の状況を確認することができます。

《 実施機関：上小阿仁村 》

実施状況



秋田県 上小阿仁村
Kamikoani Village

緊急情報 現在、役場からの緊急情報はありません。

サイトの現在位置 トップ⇒くらし⇒防災情報

更新日 2023年3月23日 更新 印刷用ページを開く

Twitter Share 0 LINEで送る

防災情報（ライブカメラ）

上小阿仁村防災監視カメラ
生涯学習センターと羽立橋付近の小阿仁川の映像です。

秋田県河川砂防情報システム
秋田県で提供している防災情報システムです。

掲載内容に関するお問い合わせはこちら

住民福祉課 住民福祉班
住所：018-4494 秋田県北秋田郡上小阿仁村小沢田字向川原118番地
TEL：0186-77-2222 FAX：0186-77-2227
E-Mail：こちらから



新羽立橋カメラ

最新情報に更新 MAPへ戻る 自動再生する (5秒おきにリロードします。)

2023/07/03 10:51:00

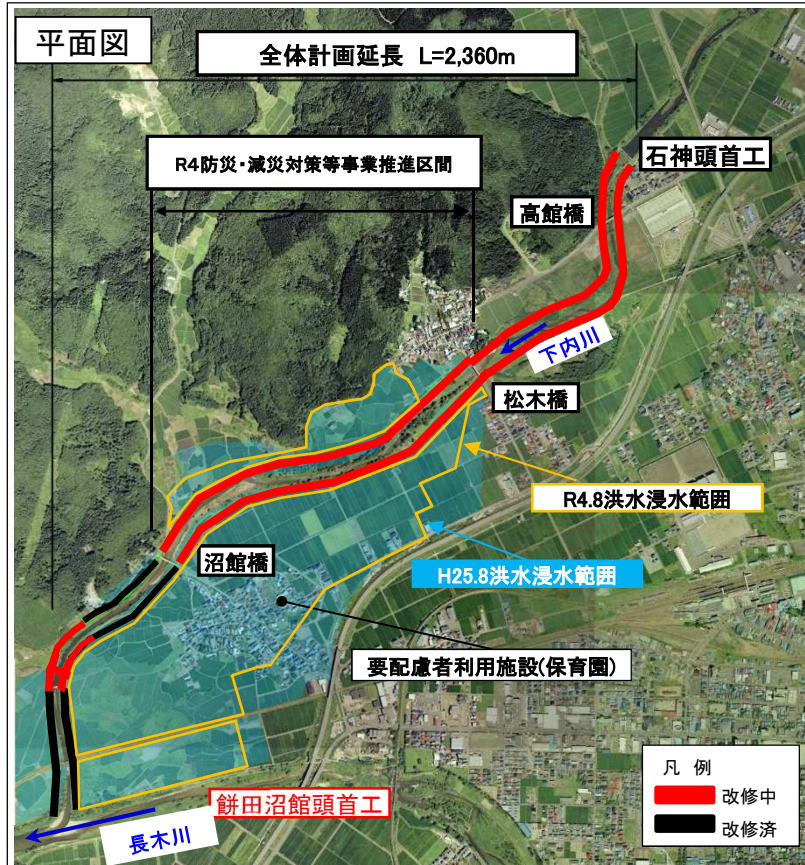
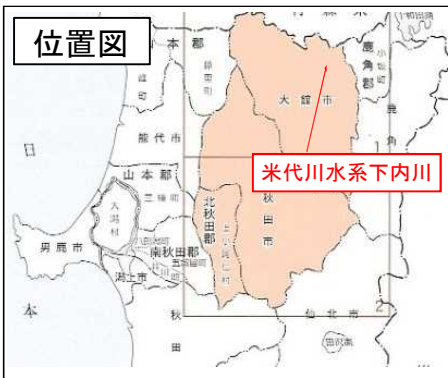
The image shows a wide river flowing under a concrete bridge with a red railing. The surrounding area is lush green with trees and grass. The sky is overcast.

氾濫をできるだけ防ぐ対策・減らすための対策

秋田県

○堤防整備 下内川(大館市)

下内川下流部の大館市沼館地区は、下内川と長木川合流点付近に位置し、JR・保育所等の重要施設が集積しているものの、現況治水安全度が低く、浸水被害が頻繁に発生していることから、河道掘削及び築堤等による河川改修を早急に行う必要がある。



【全体計画】

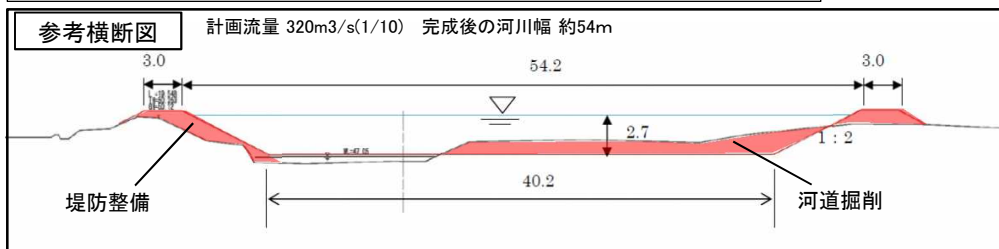
河川名：一級米代水系下内川
 事業内容：掘削、築堤、護岸、排水樋管、堰等
 全体事業費：2,336百万円（国費 1,168百万円）
 事業期間：R3～R10

過去の浸水被害

水害発生年月日	異常気象名	被害家屋戸数			
		全壊 流失	半壊床 上浸水	床下 浸水	計
H8. 7.2~7.4	梅雨前線豪雨	0	1	5	6
H21. 7.17~7.30	梅雨前線豪雨	0	1	0	1
H25. 8. 9	豪雨	0	51	33	84
R4. 8. 3	豪雨	0	19	36	55



過去の被害状況 (令和4年8月洪水)



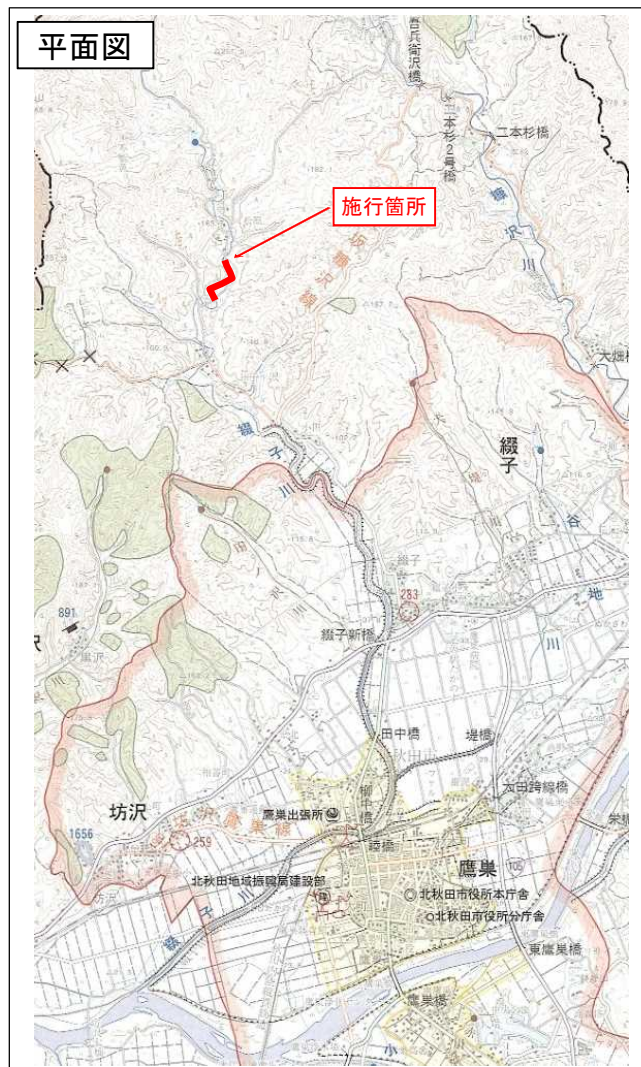
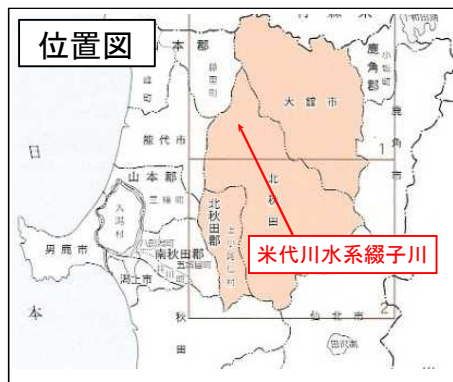
※今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

氾濫をできるだけ防ぐ対策・減らすための対策

秋田県

○河道掘削 綴子川(北秋田市)

河川の流下能力を短期間で向上させ、洪水を安全に流す取組として、河道掘削や伐木を実施する。



【事業概要】

河川名 : 一級米代水系綴子川
事業内容 : 施行延長 L=610m
河道掘削 V=2,100m³

対策前



対策後



氾濫をできるだけ防ぐ対策・減らすための対策

秋田県

○河道掘削 桧山川(能代市)

河川の流下能力を短期間で向上させ、洪水を安全に流す取組として、河道掘削や伐木を実施する。



【事業概要】

河川名 : 一級米代水系桧山川
事業内容 : 施行延長 L=308m
河道掘削 V=2,780m³
伐木・除根 A=1,700m²

対策前



対策後



被害軽減、早期復旧、復興のための対策

秋田県

○あきた河川メールサービスの開始

令和5年3月1日から、県内の河川の水位や降雨量の情報、メールで配信するサービスを開始。

①雨量・水位観測局の選択

水位観測局
・ 291箇所

雨量観測局
・ 158箇所



②配信基準の選択

水位観測局
・ レベル1～4
・ 危険水位 等

雨量観測局
・ 10分、1・3時間、累加
・ 10mm～100mm以上



③メール配信（*基準到達時）

配信イメージ

河川水位情報

▼観測時刻
2023/00/00 00:00

▼観測状況
●水位観測所
下内川_松峰（大館市松峰）※通常型【指定】

レベル1 水防団待機水位を超過しました。

観測水位：1.35m

レベル4	氾濫危険水位	3.40m
レベル3	避難判断水位	2.80m
レベル2	氾濫注意水位	1.60m
レベル1	水防団待機水位	1.30m

* 詳細は別紙リーフレット参照

かわあきた河川メール

令和5年3月1日
運用開始!

秋田県河川砂防情報システム メール配信サービス

県内の河川の水位や降雨量の情報をメールでお知らせします。
ご自身の避難行動や、離れた場所に住む大切な人の避難への呼びかけなどにもご活用できます。

配信画面イメージ

河川水位情報

▼観測時刻
2023/00/00 00:00

▼観測状況
●水位観測所
下内川_松峰 (大館市松峰) ※通常型【指定】

レベル1 水防団待機水位を超過しました。

観測水位: 1.35m

レベル4 氾濫危険水位 3.40m
レベル3 避難判断水位 2.80m
レベル2 氾濫注意水位 1.60m
レベル1 水防団待機水位 1.30m

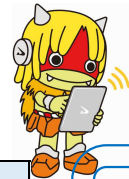
詳細は次のリンク先をご覧ください

- パソコン向け
<http://sabo.pref.akita.jp/kasensabo/>
- スマートフォン向け
<http://sabo.pref.akita.jp/kasensabo/sp/>
- スマートフォン以外の携帯電話
<http://sabo.pref.akita.jp/kasensabo/mobile/>

配信情報

©2015秋田県んだッヂ

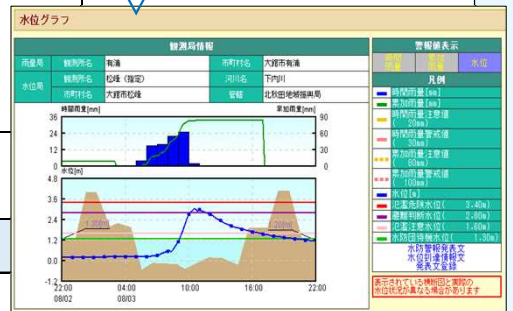
※局数はR5.3.1時点



河川水位 291箇所の観測局と配信基準を選択できます

観測局種別		配信基準
通常型【指定】	通常型の水位観測局のうち 水位周知河川における指定観測局 (レベル4までの水位設定)	<input type="radio"/> レベル4 氾濫危険水位 <input type="radio"/> レベル3 避難判断水位 <input type="radio"/> レベル2 氾濫注意水位 <input type="radio"/> レベル1 水防団待機水位
通常型	通常型の水位観測局 (レベル2までの水位設定)	<input type="radio"/> レベル2 氾濫注意水位 <input type="radio"/> レベル1 水防団待機水位
危機管理型	増水時のみ観測する 簡易型の水位観測局	<input type="radio"/> 危険水位

メール下部の
リンク先から
詳細な情報を
確認できます



降雨量 158箇所の観測局と配信基準を選択できます

配信基準				
<input type="radio"/> 10分雨量	—	<input type="radio"/> 10 mm以上	—	<input type="radio"/> 15 mm以上
<input type="radio"/> 時間雨量	—	<input type="radio"/> 20 mm以上	—	<input type="radio"/> 30 mm以上
<input type="radio"/> 3時間雨量	—	<input type="radio"/> 40 mm以上	—	<input type="radio"/> 60 mm以上
<input type="radio"/> 累加雨量	—	<input type="radio"/> 80 mm以上	—	<input type="radio"/> 100 mm以上

登録画面イメージ

あきた河川メール

メールアドレスで受け取る方はこちら。
(登録解除・変更の方もこちら)

メールアドレスを登録していただくことでメールでの情報発信を受け取ることができます。
登録を行う方は以下のボタンより登録メールを送信してください。折り返し登録案内メールが届きますので本文を確認の上登録を行ってください。
既に登録済みの方で登録内容の変更や解除を行う場合は以下のボタンより登録メールを送信してください。変更・解除用URLをご案内いたします。

登録メールを送信する

上記のボタンを押してもメールアプリが起動しない場合 t-akita-kawa@sg-p.jp にメールを送信してください。
メールが届かない場合 @sg-p.jp ドメイン、または akita-kawa@sg-p.jp からのメール受信を許可する設定を行ってください。
登録案内や変更・解除用のURLに接続できない場合 ブラウザのCookieの許可設定を行い、再度URLに接続してください。

秋田市 (55件)

水位 (37件)

旭川_湯沢橋 (秋田市湯沢) ※危機管理型

旭川_中島 (秋田市中通) ※通常【指定]

太平川_新血見内瀬 (秋田市太平) ※危機管理型

太平川_太平本町 (秋田市太平) ※通常

太平川_広面1号橋 (秋田市広面) ※危機管理型

太平川_牛島 (秋田市牛島) ※通常【指定]

配信カテゴリ選択

水位

レベル4 氾濫危険水位 (水位周知河川のみ)

レベル3 避難判断水位 (水位周知河川のみ)

レベル2 氾濫注意水位

レベル1 水防団待機水位

危機管理型水位計

危険水位

雨量

10分雨量

15 mm以上

10 mm以上

時間雨量

リンク先イメージ

登録はこちらから



©2015秋田県んだッヂ

▶ <https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/69992>

秋田県 建設部
河川砂防課
河川・ダム・海岸チーム
TEL 018-860-2514

登録

観測局選択

配信基準選択

氾濫をできるだけ防ぐ対策・減らすための対策

秋田県

○田んぼダムの取組

近年、集中豪雨による災害が頻発化・激甚化し、人家や農作物等への被害が増加している。県では令和3年度から、県内のほ場整備事業実施中地区において、田んぼダムの実証等に取り組んでいる。

田んぼダム

- ・水田の排水口への堰板の設置等による流出抑制によって下流域の湛水被害リスクを低減
- ・下流に守るべき市街地等がある水田地帯で実施（農業者の協力必須）



秋田県における田んぼダム排水樹

能代市東雲原地区



能代市河戸川・浅内地区



■秋田県の取組状況

取組① 実証モデル地区の設置

田んぼダムの効果や課題を検証

地区名	流量調整方法
1 下淀川	調整板(丸孔)
2 東雲原	調整板(スライド式)
3 河戸川・浅内	調整板(スライド式)
4 畑屋中央	調整板(丸孔)
5 金足西部	調整板(丸孔)
6 四ツ小屋北	ホリ製ロー型
7 内小友東部	調整板(丸孔)
8 金足東部	調整板(丸孔)
9 芥内	調整板(丸孔)

「田んぼダム実証地区(R5)」

取組② 田んぼダムセミナー・報告会の実施

「田んぼダム報告会(R4)」

現地で意見交換

関係機関が集まり、取組状況や課題等について報告や意見交換を実施

田んぼダム報告会

取組③ 田んぼダム通信

美の国秋田HP

田んぼダムの取り組みについて

- 田んぼダム通信【第7号】の発行について (2023年01月11日)
- 田んぼダム通信【第6号】の発行について (2022年11月07日)
- 田んぼダム通信【第5号】の発行について (2022年07月25日)
- 田んぼダム通信【第4号】の発行について (2021年11月09日)
- 田んぼダム通信【第3号】の発行について (2021年08月11日)
- 田んぼダム通信【第2号】の発行について (2021年06月29日)
- 田んぼダム通信【第1号】の発行について (2021年05月24日)

田んぼダム実証地区の取組などの情報発信

田んぼダムの実証が始動
～水田を使った水害防止効果に期待～

田んぼダム通信

○田んぼダムの取組

■R5年度の主な取組方針

1. スマート実証地区における取組継続

・畑屋中央地区

自動排水柵ほ場、通常排水柵ほ場、対照ほ場からの流出量を測定比較

2. 田んぼダムの手引き

・農水省が制定した「田んぼダム」の手引きや、実証地区の成果等を踏まえ、秋田県版としての「田んぼダム技術マニュアル」を作成。

(令和5年6月30日発行)

3. 田んぼダムキャラバン

・「田んぼダム技術マニュアル」作成後、周知のためにキャラバンを実施。

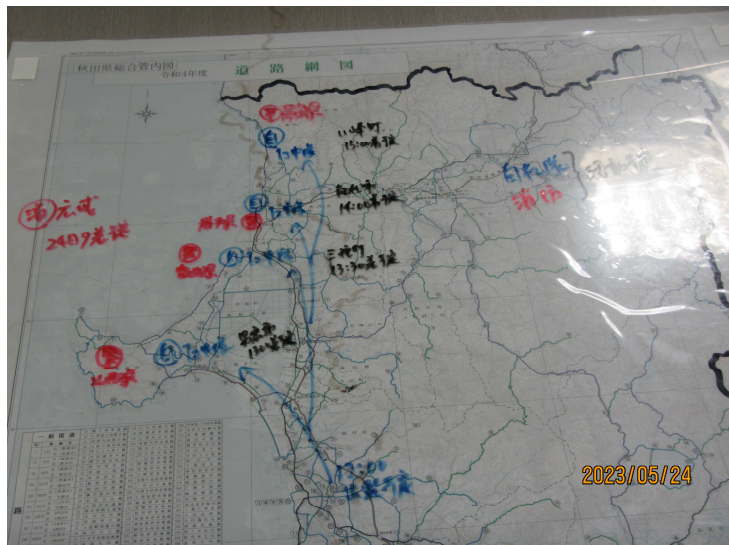
R5.5.24 「県民防災の日」訓練

☆災害対応能力の向上及び充実強化を図るため、大規模災害発生時における県、各市町村及び関係機関との情報伝達訓練を実施しました。
☆本年は、日本海中部地震発生から40年となることから、日本海中部地震と同規模の地震と被害を想定し、訓練当日の9時に、男鹿半島の北西約70kmを震源とする地震（M7.7、県内最大震度6弱）が発生したものと、初動対応を中心に実施しました。

- 被害想定：マグニチュード7.7、震源の深さ約10km、県内最大震度6弱、大津波警報発令（津波の高さ：10m想定）
- 災害派遣要請区域：能代市、男鹿市、三種町、八峰町

《実施機関：県、全県市町村、気象台、自衛隊、秋田市消防本部、警察本部、東北電力、NTT》

実施状況



各隊の活動予定を図示



訓練（幹部会議）の様子

R5.6.27 気象防災ワークショップ

☆大雨による土砂災害や洪水が懸念される状況において、気象庁から提供される防災気象情報等を適切に活用し、的確なタイミングで体制の強化や避難の判断を実施できるようになるための基本的な考え方を理解するとともに、その重要性を認識するため、各市町村及び各地域振興局の防災担当者を対象に実施しました。

☆気象台が発表する防災気象情報への理解と災害対応への活用方法等に関する座学研修（講義）のほか、気象台から提供される各情報をもとに、体制の強化や避難指示等発令のタイミングなどについて検討・発表することで、判断のポイントを学びました。

《実施機関：県、気象台、各市町村》

実施状況



座学研修の様子



グループワークの様子

秋田県防災アドバイザー派遣事業

☆地域全体の防災意識向上や地域の実情に応じた自主防災組織の結成促進、活動の活性化を支援するため、日本防災士会秋田県支部と連携し、防災士を「防災アドバイザー」として自主防災組織、自治会、教育機関、その他各種団体等に派遣し、きめ細やかなアドバイスをいたしました。

☆防災アドバイザーは、自主防災組織の運営、日常的な防災活動、災害対応力の向上、防災知識の普及及び啓発など、申込内容（要望）に応じ様々な支援等活動を行っています。

➤ 最近の実績

- ・令和2年度 13回
- ・令和3年度 12回（※R2,R3は新型コロナウイルス感染症拡大のため、申込が減少）
- ・令和4年度 30回

《実施機関：県、防災士会》

実施状況



アドバイザーによる講演の様子



各種実践演習・訓練の様子

R5.6.13 地域防災力強化研修

☆山本地域振興局と秋田地方気象台が共催で、能代山本地域における大規模災害発生に備え、防災気象情報の利活用、初動対応手続き、県及び各市町の連絡体制の確認と、演習によって職員の危機対応力を強化することを目的に研修を実施した。

座学では、気象情報の見方、収集の仕方などを学んだ。ワークショップでは、台風接近で河川が氾濫して洪水発生を想定した際のデータの読み方、避難指示発令のタイミングについて演習を行った。

●場所：秋田県山本地域振興局 ●参加人数：19人

《実施機関：秋田県山本地域振興局・秋田地方気象台》

実施状況



座学



ワークショップ

R5.6 秋田県と連携した気象防災ワークショップの開催

☆気象防災ワークショップでは、洪水災害あるいは土砂災害が発生するおそれのある状況下で、気象台が発表する様々な情報を参照しながら少人数でのグループワークを行い、地方公共団体での防災対応を疑似体験していただきました。ワークショップを通じて、各種の防災気象情報を適切に理解し、有効に活用するとともに、体制の強化や避難情報の発令のタイミングなどに関する検討を行い、判断のポイントを学んでいただくことによって防災対応力の向上を目指しています。

☆地方公共団体等の防災対策の協力・支援として、引き続き気象防災ワークショップ実施し、現場担当者の防災対応力の向上を目指します。

《実施機関：秋田地方気象台、秋田県》

実施状況



6月13日_山本地域振興局(中小河川洪水災害編)



6月27日_秋田県庁(中小河川洪水災害編)

R5.6 教育機関との連携による出前講座・防災教育の拡充

☆防災教育における研修の充実や情報の利活用、地域連携を強化し、県教育機関と連携して出前講座を行っています。自分の命は自分で守ることができる幼児・児童・生徒の育成を目指して、防災知識の醸成を図っていきます。

☆昨年度は幼保・高校等、計9校に講師を派遣して防災教育を実施しました。今年度も引き続き県と協力して実施していきます。

《実施機関：秋田地方気象台、秋田県》

実施状況



防災紙芝居



頭を守るポーズ

R5.5 簡易版マイタイムライン講習会 ～地域のきずなセミナー～

☆能代市で行われた、地域の防災力向上を目的としたセミナーに講師として参加し、【簡易版マイタイムライン】の講習会を実施しました。

自治会長及び防災士の方々を対象に、ハザードマップの見方や、Googleマップを活用した避難先までの移動時間の調べ方を説明し、アンケートでは、「分かりやすかった」「洪水についての心構えが変わった」という意見が多く得られました。

場 所：能代市役所

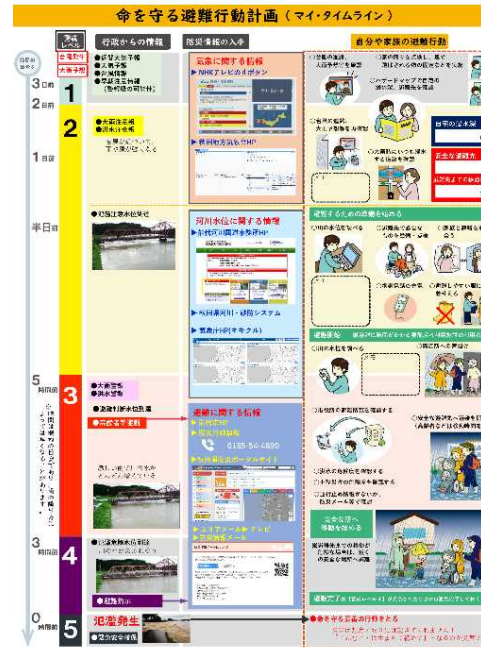
開催日：令和5年2月10日

《実施機関：能代河川国道事務所、能代市自治会連合協議会》

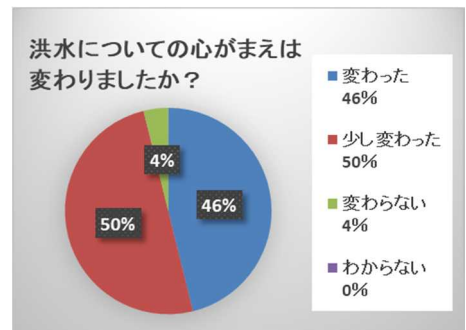
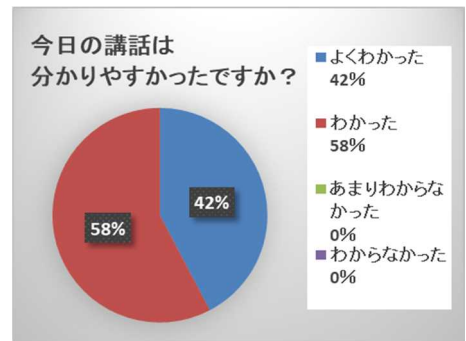
実施状況



講習会の様子



簡易版マイタイムライン



アンケート結果

R5.5 防災パネル展 ～イオンタウン能代～

☆昭和58年、秋田県沖を震源とするM7.7の大地震が発生。地震や津波により、多くの死傷者が出た他、家屋流出など甚大な被害が発生してから今年で40年目の節目となります。また、近年の異常気象により全国各地で大雨による甚大な洪水被害が毎年のように発生しています。そのため、防災意識の啓発を行うことを目的として『防災パネル展』を開催し、流域治水の取り組みについても紹介しました。

場 所：イオンタウン能代

期 間：令和5年5月23日～6月11日

《実施機関：能代河川国道事務所、秋田气象台、能代市》

実施状況



パネル展の様子